

中学生・高校生のための

# 資源循環・3R学習教材

詳しい情報は  
中学生・高校生・市民のための環境リサイクル学習ホームページの  
「**先生方へ**」コーナーをご覧ください。  
URL : <http://www.cjc.or.jp/school/teacher>

# 無料

(送料のみ有料)

中学 高校 資源循環

検索

調べよう！  
探究を楽しもう！

環境学習 Web サイト

触ろう！  
実感しよう！

3R学習容器包装リサイクル教材

コロナ対策のため貸出し休止中



例：アルミ缶



例：ペットボトル

「これが、こうなって、こうなる！」と資源循環の流れを、実物を並べるだけでパッと理解できる教材 ※貸出し休止中

### 教材一式

紙製容器包装、プラスチック製容器包装、  
ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、  
ガラスびん、段ボール製容器包装、  
飲料用紙製容器



食品ロスを減らすには？

なるほど！  
こんな工夫しているんだ！

もっとリサイクルするには？

「**持続可能な資源循環とは？**」を探索する環境学習 Web サイト。  
専門的で複雑な資源循環に関するデータ（資源の採取→生産→使用→リサイクル→廃棄）をまとめ、全体をパッと俯瞰するフロー図や、関連性を深く調べるデータを掲載。専門的な内容は豊富なイラストや図を使用し、視覚的にわかりやすく表現。また、社会の3R取り組み事例、国際的なデータも掲載。単に資源循環のデータを伝えるだけでなく、生徒自らが「なぜ？」「どうして？」と問いを持ち、調べ、考え、比較しながら探究する「問いかけ」や、「SDGs」に学びを広げるヒントも豊富。

(詳細は裏面をご覧ください)

# 中学生・高校生・市民のための 環境リサイクル学習ホームページ



## 資源循環の

### 知識を活用する学びへ！

専門家の指導のもと、資源循環に関するデータ（資源の採取→生産→使用→リサイクル→廃棄）を1つにまとめています。専門的な内容はイラストや図でわかりやすく表現。フロー図、グラフや「問いかけ」をヒントに、資源循環に関係する経済・社会・環境や世界に思考を広げ、深めながら、どうしたら持続可能に資源を使うことができるのか探求する学びを支援します。



## 1人1人の

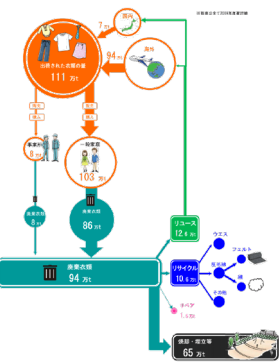
### 興味・関心から学びをスタート！

1人1人の興味・関心に応じて、学びをスタートできるように、身近な「もの」と「ものをつくる原材料」に資源循環の見方を分け、多彩なコンテンツを掲載しています。さらに、豊富なイラスト、図、グラフなどで、視覚的にわかりやすく学習できます。Web教材として、在宅学習時の参考資料にもご活用ください。

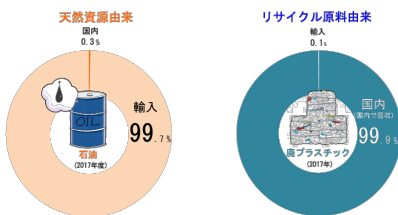


#### 例

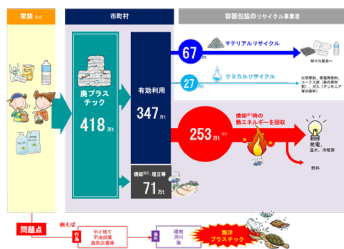
#### 衣類のマテリアルフロー



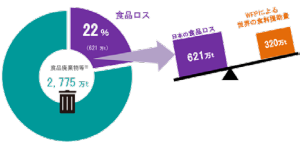
#### プラスチック原料の輸入依存度



#### 家庭から出た廃プラスチックのゆくえ



#### 廃棄された食べ物の中に、どれくらい食品ロスがあるの？

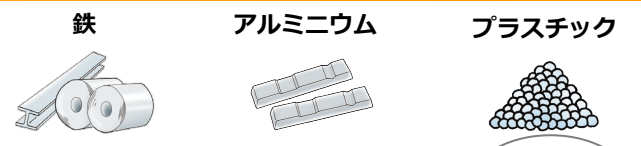


#### 例

#### 「もの」から資源循環を探求！



#### 「もの」をつくる原材料から資源循環を探求！



進路のヒントになるかも。

SDGsと関連して学べるね！



## 学びの質の向上に向けて 資源循環の今を支える皆様と制作

### 制作ご協力者の皆様 (例)

農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、札幌市、志布志市、松本市、(一社)日本鉄鋼連盟、(一社)日本アルミニウム協会、日本プラスチック工業連盟、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)電池工業会、(一社)JBRC、イオングループ、(株)ウジエスーパー、(株)エヌ・シー・エス、キュービー(株)、スターボックス コーヒー ジャパン(株)、大栄環境(株)、(有)田代商店、(株)チクマ、帝人フロンティア(株)、ナカノ(株)、(株)日本フードエコロジーセンター、(株)ファミリーマート、(有)ブライトピック、ユニー(株)など

### 「先生方へ」コーナーより

今、持続可能な資源循環型社会の構築が求められています。私たちの暮らしは生産活動と日常生活活動による製品やモノによって成り立っていますが、ものや製品等をつくる資源・エネルギーは地球上に無尽蔵にはありません。そこで持続可能な資源循環型社会を構築するための「学びの質」を高めていくことが不可欠です。中・高校生や市民の皆さまが廃棄物の発生抑制、資源の再利用及びエネルギー回収も含めて「なぜ？」という「問い」を常に発想し、探究していく思考のプロセスを大切に、持続可能な社会づくりを共創していく「学び」によって、「なるほど！」と納得のいく内容でデザインしている本WEBサイトを活用していただくことを期待しています。

編集委員長 小澤 紀美子 (東京学芸大学 名誉教授)